

2024 年度 法人事業報告

1 法人議決機関等の運営について

理事会は4回、評議員会は2回開催し、事業、決算報告、事業計画、予算について討議するとともに、各規程の改正などについて提案し、審議いただきました。法人全体の経営、運営体制は概ね順調に推移してきましたが、さらなる安定的な運営に向け引き続き充実を目指していきます。

【開催の経過】

(1) 理事会・評議員会

第1回理事会	5月30日	事業報告、決算報告、評議員の選任・解任
第2回理事会	9月19日	事業進捗報告、定款変更
第3回理事会	11月22日	予算の考え方、次年度事業の方向性、上半期収支状況
第4回理事会	3月7日	予算案、事業計画案、規程の改正
定時評議員会	6月18日	事業報告、決算報告
臨時評議員会	3月18日	予算案、事業計画案、定款変更

(2) 他定款に基づく会議等

監事監査	5月22日	決算及び事業についての監査
評議員選任・解任委員会	6月4日	評議員候補者の選任議決

2 法人内管理運営体制について

理事三役会議、管理者会議、GH 常勤会議を月1回、日中常勤会議、法人事務局会議を適宜開催し、事業計画、報告、人事、決算、予算、支援内容、職務体制、人材確保の問題、事業所の管理運営など話し合いました。

人材育成では、職員個人に合った年度の目標を立てて業務に取り組み、成果を共有することで、意欲の喚起と課題解決を進める目標共有シートによる業務遂行を導入しました。2024年度は試行として行い、次年度から本格実施し、同時に人事考課制度についての導入も進めていきます。また、要綱に基づく昇給昇格検討委員会を設置し、昇給基準や昇給者の検討等を行いました。

3 役員体制及び事業所人員体制

2024年度は、改選が無く引き続いて役員は、理事会・評議員会を運営し、業務執行に係る課題対応に当たることとなりました。

職場体制では、サービス管理責任者の資格取得と職員育成を念頭において有資格者の派遣研修への参加などを進めてきました。

職員体制では、日中事業所は特に勤続5年以下が多くを占め、職員の定着とともに特に支援業務について、OJT、OFFJTによるさらなるスキルアップを目指すことが必要となっています。また、年度後半には、常勤、非常勤職員の退職及び常勤職員の産育休取得があり、職員採用を行いました。また、グループホームでは、職員の高齢化による定年退職者もあったことから、職員採用を行いました。今後の安定的な運営体制の確保と支援の継続性が課題となっています。

4 主な業務報告

(1) 各事業体報告は別添

(2) 法人化 20 周年事業の実施

年度初めに職員代表による記念事業実行委員会を立ち上げ、5 月から月例で会議を開催し意見交換をしながら企画等を進め、9 月に来賓と職員参加による記念式典、12 月に利用者・保護者参加のグループホーム祝賀会、及び利用者参加による日中祝賀会を実施し節目の年を祝いました。

(3) 災害 BCP の検討運用プロジェクトの運営

災害、特に地震発生時の BCP（業務継続計画）をより現場の実態に即した運用が出来るような行動計画を定めることを目的に、職員代表によるプロジェクトを立ち上げ、7 月から 6 回にわたり、意見交換を進めました。概要については管理者会議を経て理事会に報告し、保護者へ説明を行いました。秋から参集訓練を実施し、参集時の課題等について職員個人と法人において理解・認識を進めました。

(4) 規程の改正

通勤手当規程・車両通勤規程については、一部実態とそぐわない点があったため改正し、法的体制を構築していきました。

(5) 第 2 銀河の移転

第 2 銀河は昨年 10 月 31 日に契約終了となっており、業者から紹介された複数の候補地について調査、検討を行いましたが、実現に至らず、11 月 1 日より 3 年間の契約更新を行いました。

5 利用者、保護者、家族及び地域社会から信頼される運営

(1) 利用者・保護者・家族

法人の情報についても、各事業所より、通知・メールなどによりタイムリーな情報提供を念頭に置き、意思疎通を図っていきました。なお、日中事業所、グループホームにおいても、利用枠に複数の欠員が生じており、新規利用者の確保が課題となっています。

(2) 地域・企業との交流活動

地域の一員としての施設であることを自覚し、日中事業所、グループホーム、法人事務局においても自治会町内会、地区社会福祉協議会等地域団体の地域防災・祭りなどの事業や取り組みに参加するとともに、馬車道まつり、企業の販売会などに参加し、自主製品の販売機会とするほか、交流を深める機会としていきました。

6 研修

主催各研修については別添

虐待防止、身体拘束適正化研修は、委員会終了後各所属にて管理者から実施いたしました。その他、市社会福祉協議会主催研修や、区作連主催の研修（3 月実施 テーマ 成年後見制度）に多くの職員が参加しました。

7 広報

法人・各事業所の事業や現状について知らせる法人広報を夏、冬に発行し、保護者、関係者に配布いたしました。

2024年度ハートランド事業報告（生活介護事業）

I 事業概況

今年度も看護師の計測した血圧と体重の変化をまとめ、4月と10月に「けんこうだより」を配布しました。ご家庭に健康面のフィードバックを行い生活の見直しなど相談しやすい状況を作ることが出来ました。

作業面では革作業を担当していた職員が急な疾病により勤務の継続が難しい状況となり、作業工程を把握している職員も他におらず、一度終了する方向となりました。代替りの作業として、新たに木工作業を始める予定で、作業場所の確保に向けて年明けから動き始めています。

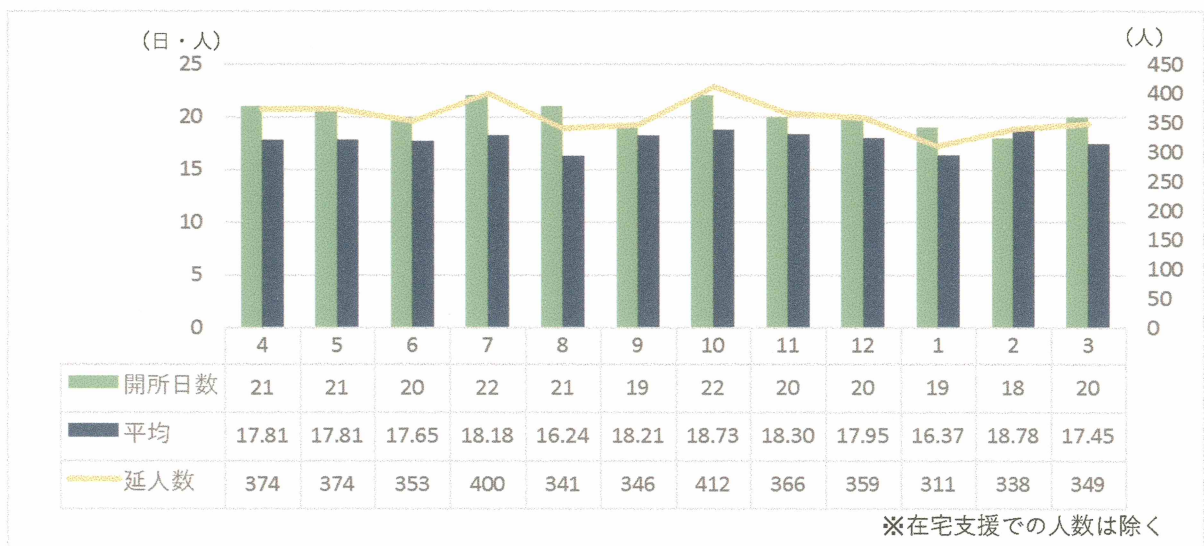
ご利用者については、自宅から通所している特に保護者が高齢になりつつあるご家庭に向けて、親亡き後について関連機関の担当者も交えながら検討する機会を持ちました。その中で何名かは短期入所の見学やグループホームの入居体験などの取り組みを始めることが出来ました。また、特別支援学校や近隣区のケースワーカーなどに働きかけたものの実習生の受け入れは1名にとどまっており、新たな利用者の獲得には至りませんでした。

バスハイクや一泊旅行といった遠出は行うことが難しかったですが、その分、近場での余暇活動を実施したり、外部で開催された余暇的活動に参加するなどしました。

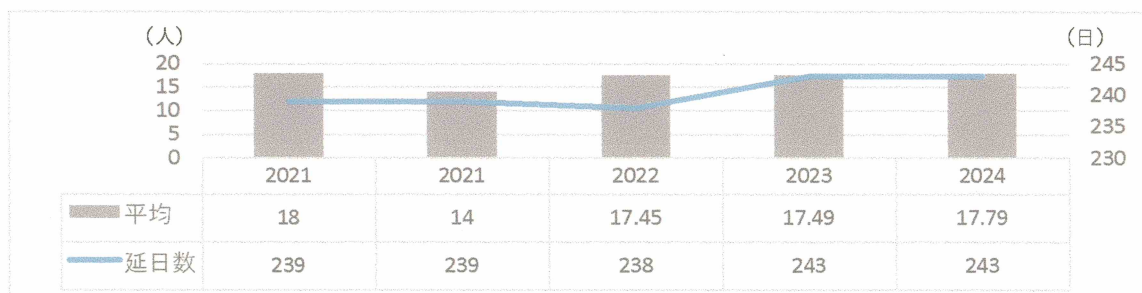
同性による身体介助を安定的に行うことが出来るよう、男性職員を1名、産休に入る女性職員を考慮し1名女性職員の採用を行いました。

II 事業関係 実施期間 2024年4月1日から2025年3月31日まで

1 利用実績 開所日数 243 日



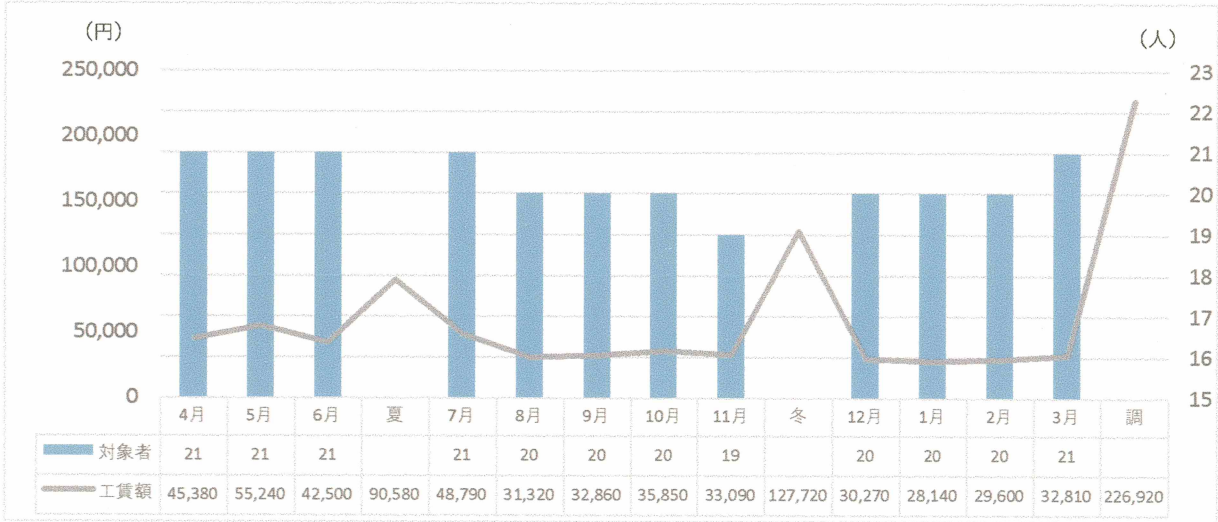
延日数と平均利用実績過去5年間推移



2 行事報告（休日開所含む） ※大々的な行事以外も記載

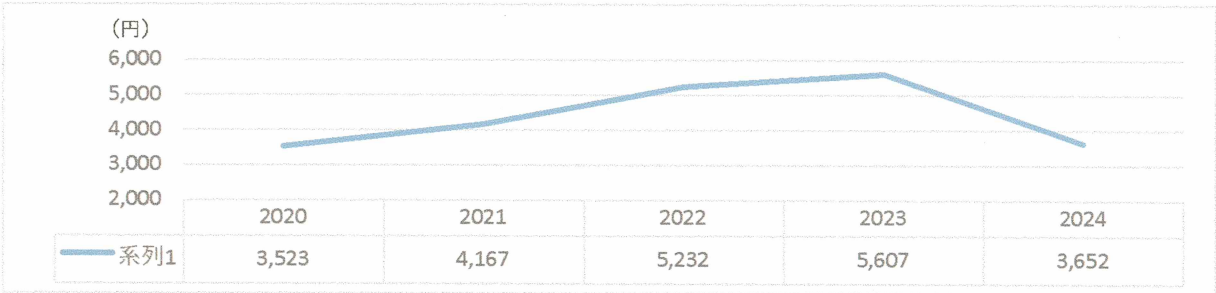
	行事内容	休日開所日・回数	
4月	孝道山お花見（雨天中止）/昼外食①		回
5月			回
6月	こもればカフェ/区作連レク		回
7月	昼外食②		回
8月			回
9月	仲間の交流会		回
10月			回
11月	昼外食③		回
12月	クリスマス会/未来を考える集い/かなフェス		回
1月			回
2月			回
3月	年度末食事会		回

3 工賃支給額 平均工賃額 3,652 円 工賃総額 891,070 円



※夏、冬、調とは夏季賞与、冬季賞与、調整金の略

平均工賃月額過去5年間推移



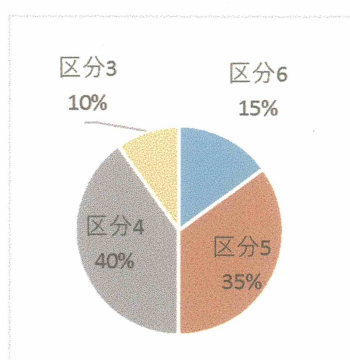
4 作業内容

- ① 受注作業 : メール便配達、アクセサリパーツ封入・製作 他
- ② 自主製品 : 革製品、ビーズ製品他
- ③ 販売活動 : 自主製品販売、きょうされんカタログ販売
販売場所 : 区役所、ともしびショップ、三ツ沢・片倉ケアプラザ、
のげのちかみち、など
- ④ 委託作業 : 片倉町バス停清掃

5 利用者関係 ※2025年3月31日付

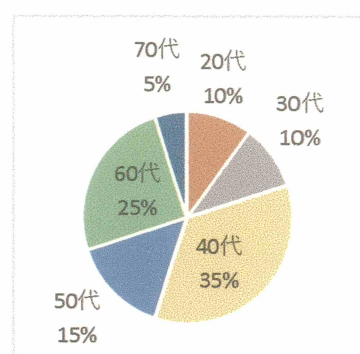
入所 1 名
 退所 2 名
 定員 20 名 現員 20 名 平均年齢 47 歳
 支援区分

	男性	女性	合計
区分6	1	2	3
区分5	7	0	7
区分4	7	1	8
区分3	1	1	2
区分2	0	0	0



年齢

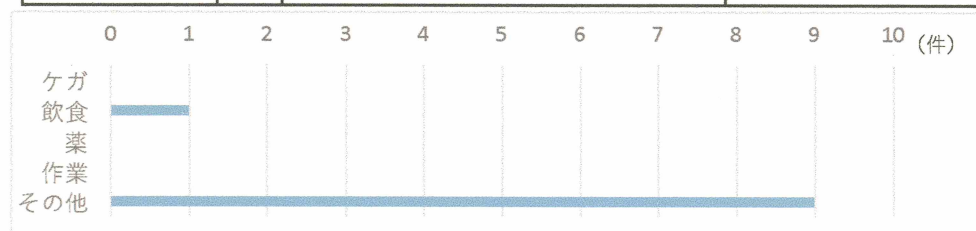
10代	0
20代	2
30代	2
40代	7
50代	3
60代	5
70代	1



ヒヤリハット報告

2024年4月1日から2025年3月31日まで 件数 10 件

内容	件数	主な内容	対応・改善点
ケガ	0		
飲食	1	職員の私物の菓子を見つけ盗食	私物の管理の徹底
薬	0		
作業	0		
その他	9	確認・共有ミス	確認方法の再検討・共有のルール設定



6 職員関係

職員配置	常勤	有期	備考
管理者	1		
サービス管理責任者	1		管理者兼務
生活支援員	4	4	12月から1名産休取得
看護師		1	

採用 2 名 常勤 (5月男性1名、2月女性1名)
 退職 0 名
 異動 0 名
 休職など 1 名 2026年1月まで産休予定

研修実績 延 31 名 ※一つの研修で複数の日程の際はそれぞれ集計しております

主な研修 ・チームビルディング ・支援の基礎 ・福祉の接遇 ・職場作り
 ・対人援助技術 ・リスクマネジメント ・対人援助のコミュニケーション
 ・支援の基本 ・記録 ・記録基礎 ・管理者のメンタルヘルス
 ・キャリアパス新人 ・虐待防止研修 ・区作連研修 など

III 2024年度事業を振り返って

1. 利用者支援

- ・一泊旅行やバスハイクの実施はできませんでした。その分定期的に行う余暇として、昼外食を3回開催しました。
- ・自立課題についてはより多くのご利用者へと活用することは出来ませんでした。
- ・ご本人やご家族に変化が多く見られることがありましたが、日頃から関係機関と連携を図っていたことも有り、迅速に対応することが出来ました。

2. 地域交流

- ・沢渡ケアプラザや区作連を通じて地域交流を図ることが出来ました。
- ・地域の行事に参加し、地域住民とも交流することが出来ました。

3. 危機管理・環境整備

- ・2階のデッドスペース化していた部分について、不要品の整理を行いました。
- ・備蓄品の整理と171ダイヤル訓練を行うことが出来ました。

4. 人材配置・研修計画

- ・体調不良による長期休暇や産休育休に入る職員などが出ましたが、同性介助を行える職員体制は整えることが出来ました。一方でトランスジェンダー職員の入職があり、身体介助について改めて検討が必要となりました。
- ・職員研修について計画を立て、内外の研修に参加してもらい、日々の業務に生かすことが出来ていました。

5. 経費の効率化・運営収入の確保

- ・ご利用者の利用状況については8月中旬よりトロワから1名移籍が有り一時22名の在籍となりましたが、3月下旬に2名のご利用者が転居やライフステージの変化に伴い退所となりました。その他、2名は短期入所の利用日の増加に伴い通所日数が減少しており、報酬改定の影響もあり大きく収入が減る結果となっています。実習を1名行いましたが契約には至りませんでした。

2024年度ネバーランド事業報告（就労継続支援B型/生活介護事業）

I 事業概況

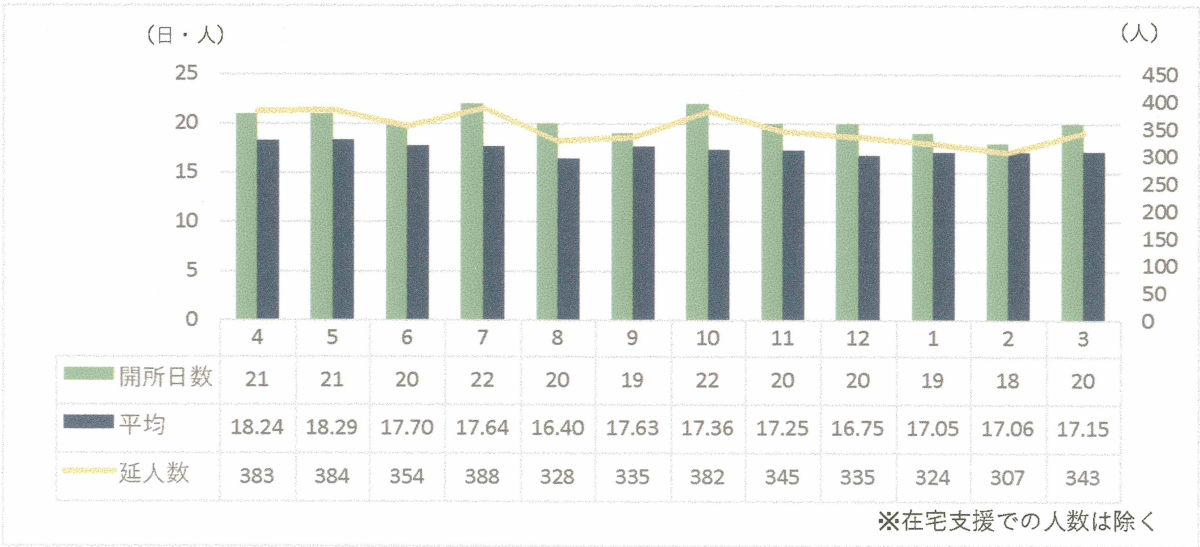
2024年度は生活介護事業へ変更という大きな動きがありました。事業変更決定の後に報酬改定があり、生活介護事業が時間制になるなど、制度に翻弄された1年であったと感じます。

生活介護事業へ変更となり定期的な看護師のケア、嘱託医への相談が出来、ご家族やご本人の健康への意識が高まりました。また就労ではない活動もできることから、外出など余暇活動を取り入れたり、個別に余暇の時間を作ることもできました。

工賃支払い基準を見直し、月額制から積み上げ制にしたことで、ご家族の疑問などなくなり、ご利用者も仕事を頑張ってお給料を稼ぐというモチベーションが上がりました。就労事業の際積み立てていた工賃変動積立金は、生活介護へ事業変更となったため年度内に全額返還いたしました。

II 事業関係 実施期間 2024年4月1日から2025年3月31日まで

1 利用実績 開所日数 242 日 通所者平均 17.39 人



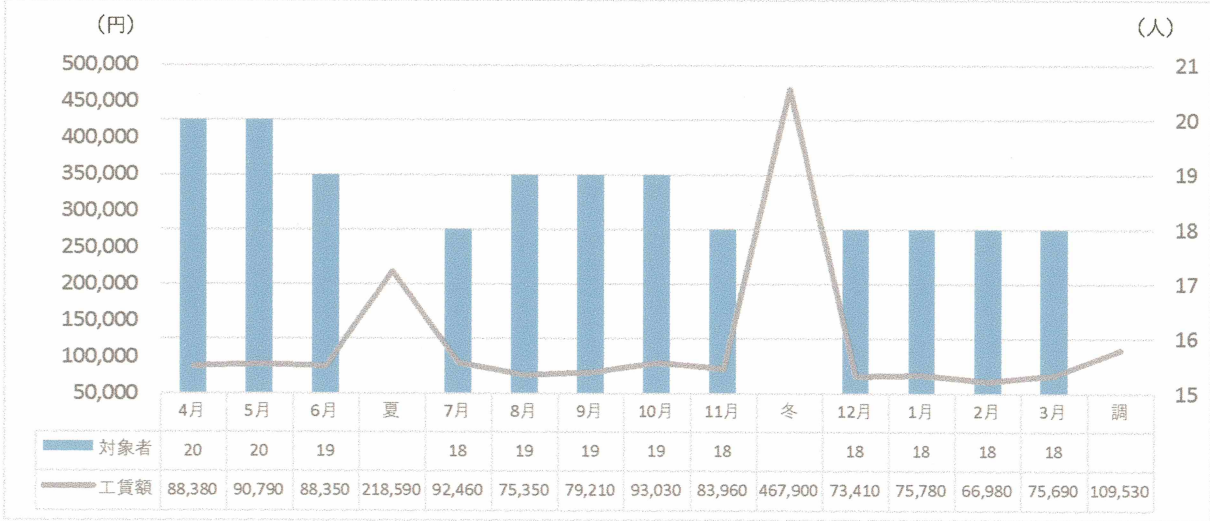
延日数と平均利用実績過去5年間推移



2 行事報告（休日開所含む）

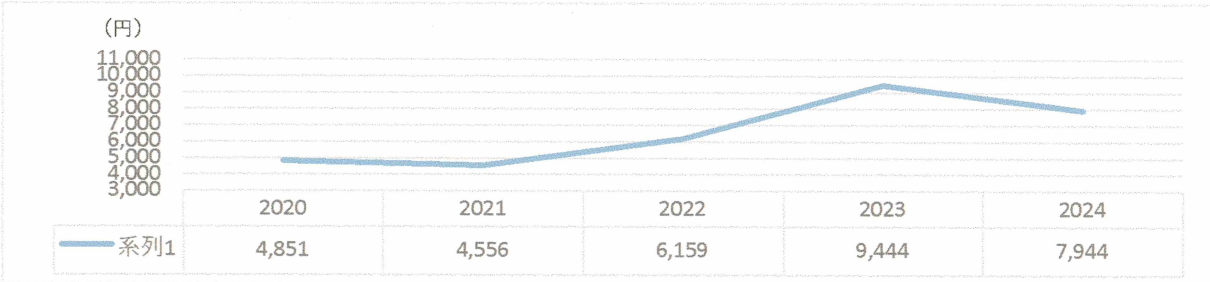
	行事内容	休日開所日・回数	
4月	孝道山花見		0 回
5月	馬車道マルシェ		0 回
6月	洲崎まつり／区作連レクリエーション		0 回
7月			0 回
8月	納涼祭		0 回
9月			0 回
10月	区民DAY／馬車道まつり		0 回
11月	JAIFA販売／のげちかマルシェ／ともいきアート展／かなフェス		0 回
12月	未来を考える集い／20周年記念食事会／クリスマス会		0 回
1月	消防音楽隊コンサート		0 回
2月	マツダ販売（見学昼食会）		0 回
3月	年度末食事会		0 回

3 工賃支給額 平均工賃額 7,944 円 工賃総額 1,779,410 円



※夏、冬、調とは夏季賞与、冬季賞与、調整金の略

平均工賃月額過去5年間推移



4 作業内容

- ① 受注作業 : 廃油ろ過材縫製
- ② 自主製品 : 菓子、餃子製造・知育玩具等の手芸品・古紙回収
- ③ 販売活動 : 自主製品販売、きょうされんカタログ販売、各種祭販売
販売場所 : ネバーランドカフェ、受注生産、こそあどぐるん委託販売
神奈川区役所売店、地域ケアプラ、ともしびショップ
- ④ 委託作業 : 横浜市委託公園掃除、プール清掃

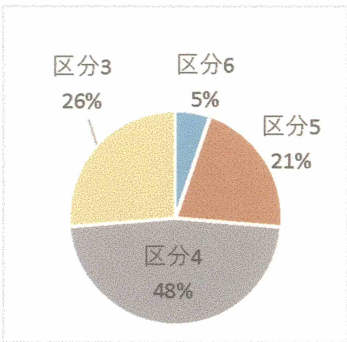
5 利用者関係

※2025年3月31日付

入所 0 名
退所 1 名
定員 20 名 現員 19 名 平均年齢 37 歳

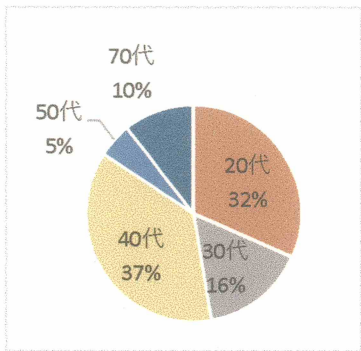
支援区分

	男性	女性	合計
区分6	0	1	1
区分5	3	1	4
区分4	8	1	9
区分3	3	2	5



年齢

10代	0
20代	6
30代	3
40代	7
50代	1
60代	0
70代	2

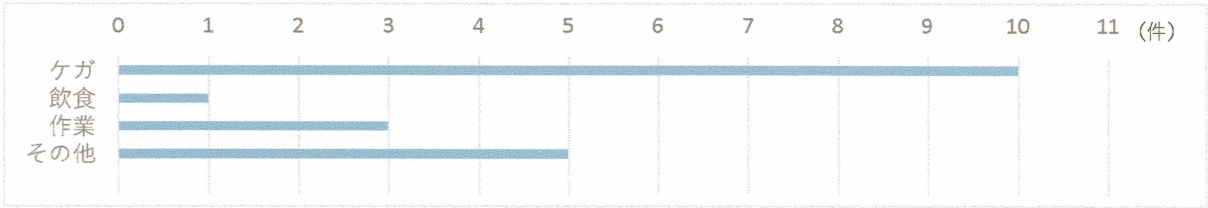


平均区分 4.05

ヒヤリハット報告

2024年4月1日から2025年3月31日まで 件数 19 件

内容	件数	主な内容	対応・改善点
ケガ	10	調理中のケガ	見守りの強化
飲食	1	慌ててお菓子を食べ嘔吐	状況の確認と情報共有
作業	3	空焚き/異物混入未遂	タイマー使用、確認の徹底
その他	5	工賃入れ間違い、イベント時帰宅手段確認不足	チェック体制の徹底



6 職員関係 ※2025.3.31現在

職員配置	常勤	有期	備考
管理者	1		
サービス管理責任者	1		管理者兼務
生活支援員	4	2	
看護師		1	派遣職員

採用 1 名 常勤職員 男性1

退職 0 名

異動 1 名 常勤管理者 N→T

研修実績 延 21 名 ※一つの研修で複数の日程の際はそれぞれ集計しております

主な研修 ・法人内研修 ・身体拘束適正化、虐待防止研修

・区作連、市作連、きょうされん

・食品衛生、サビ营基礎/補足

III 2024年度事業を振り返って

1.利用者への支援

- ・新規自主製品活動：手芸の精度を高め、刺し子の作品やレジン製品など新製品の開発に力を入れました。展示会などに参加するなど職員の視野を広げる取組を行いました。
- ・健康面：生活介護事業への変更に伴い、嘱託医・看護師による健康チェックを開始。健康たよりをご家庭に配布しました。
- ・余暇活動：未だ検討中ですが、希望者とともに近隣への外出を行いました。

2.地域交流

- ・カフェ「PAPPINESS」を運営。ワークショップ開催には至りませんでした。

3.危機管理環境整備

- ・虐待防止：法人で虐待防止及び身体拘束委員会を開催。事業所内研修を行いました。
- ・災害備蓄品の見直し、避難訓練を行ないました。BCPの観点からご利用者個人でも避難時に必要なものを備えて頂きました。

4.人材配置・研修計画

- ・状況に合わせ職員の異動や新規雇用を行いました。
- ・外部への研修参加はあまりできなかったのですが、展示会など積極的に参加し自主製品の新規開発へと繋げました。また内部の研修において、福祉事業の現状などを職員間で共有し、自身の役割を考えるきっかけを作ることができました。

5.経費の効率化・運営収入の確保

- ・1名年度途中の退所者があり収入の減少がありました。
- ・生活介護事業への変更のタイミングが報酬改定と重なり、想定していた収入に届きませんでした。
- ・大学実習生1名受け入れ、実習費用を得るとともに法人の存在を周知できました。

6.その他

- ・2024年7月1日付けで、かねてより計画をしておりました生活介護への事業変更を行いました。活動の基本は従前通り作業がメインではありますが、希望者は日中余暇活動を行ったり、外出等のイベントを取り入れました。

2024年度トロワランド事業報告（生活介護事業）

I 事業概況

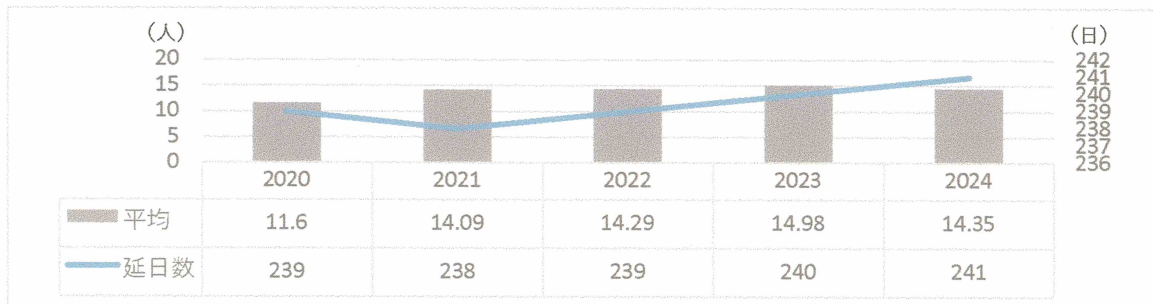
2024年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で、長く対面で実施していなかった個別支援計画に関する保護者との面談を、6月、11月に実施し、利用者の家庭での生活状況の聞き取りや、今後の希望などについての意見交換を行いました。作業に関しては、団地清掃、ペン・部品作業や手ぬぐい、犬用ジャッキーなど自主製品の製作販売、野菜販売、プール清掃等、安定して仕事に取り組むことができました。法人の他事業所と協調し、開所対応とは至らなかったものの、地区の祭、団体・企業のイベントなどに積極的に出店し、自主製品販売と地域交流を深める機会としました。利用者関係では、法人内GHへの入居希望者の調整を行い入居に結び付けたほか、快適な過ごしやステップアップなどを念頭に、法人内他事業所、他法人の就労B型事業所への異動の支援を行い、異動後の成果に結びつけました。職員体制では、10月に管理者が非常勤となり勤務日数が減となりましたが、運営に支障無いよう統括管理者の指導により体制を整え、また年度終盤には、ベテラン職員が退職したことに伴い次年度に向け業務の一部見直しを進めました。年末には利用者にインフルエンザ感染者が複数名ありましたが、年間を通じて大きな事件・事故等もなく安定運営が図られました。

II 事業関係 実施期間 2024年4月1日から2025年3月31日まで

1 利用実績 開所日数 241 日



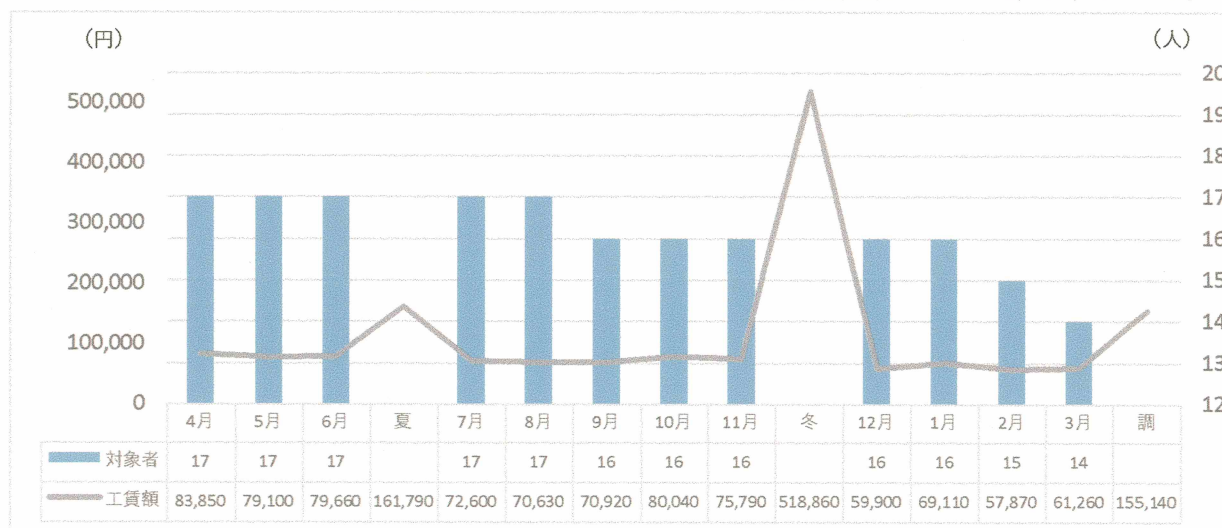
延日数と平均利用実績過去5年間推移



2 行事報告（休日開所含む）

	行事内容	休日開所日・回数	
4月			回
5月	馬車道まつり出店		回
6月	区作連主催イベント参加		回
7月			回
8月	三ツ沢地区納涼祭出店		回
9月			回
10月	区民祭り、馬車道まつり、福祉まつり出店		回
11月			回
12月	法人化20周年祝賀会参加、クリスマス会		回
1月			回
2月	節分豆まき		回
3月			回

3 工賃支給額 平均工賃額 8,745 円 工賃総額 1,696,520 円



※夏、冬、調とは夏季賞与、冬季賞与、調整金の略

平均工賃月額過去5年間推移



4 作業内容

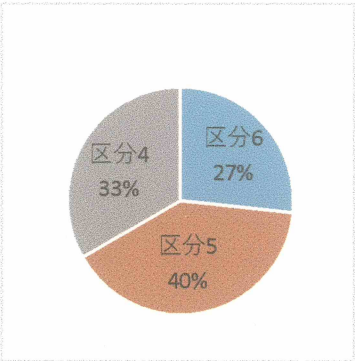
- ① 受注作業 ： ペン、電子部品の組立、団地清掃 他
- ② 自主製品 ： 犬用ジャーキー、絞り染め製品、他
- ③ 販売活動 ： 野菜・自主製品販売、きょうされんカタログ販売
販売場所 ： トロワワゴン、地域ケアプラザ、地域まつり会場他
- ④ 委託作業 ： 学校プール清掃（市教育委員会）

5 利用者関係 ※2025年 3月31日現在

入所 1 名
退所 4 名
定員 20 名 現員 15 名 平均年齢 35 歳

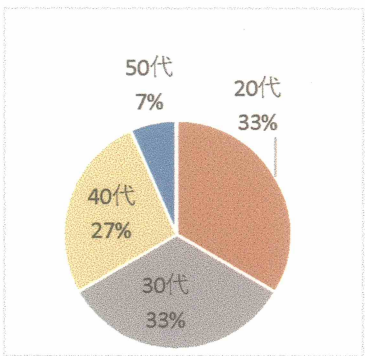
支援区分

	男性	女性	合計
区分6	3	1	4
区分5	4	2	6
区分4	2	3	5
区分3	0	0	0
区分2	0	0	0



年齢

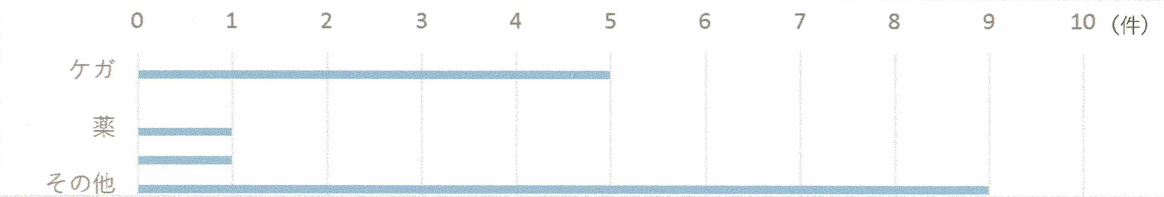
10代	
20代	5
30代	5
40代	4
50代	1
60代	
70代	



ヒヤリハット報告

2024年4月1日から2025年3月31日まで 延件数 16 件

内容	件数	主な内容	対応・改善点
ケガ	5	階段からの転落、利用者同士の衝突	利用者の行動に注意
飲食			
薬	1	服薬支援の忘れ	複数職員でチェックを行う。
作業	1	納品の漏れ	納品の際に残が無いかを確認する。
その他	9	書類送付の放置	事業の進行管理を複数で行う。



6 職員関係

職員配置	常勤	有期	備考
管理者	1		(法人本部と兼務、10月より非常勤)
サービス管理責任者	1		
生活支援員	4	2	
看護師		1	
調理員		1	生活支援員兼務

採用 0 名
退職 1 名
異動 1 名

研修実績 延 22 名 ※一つの研修で複数の日程の際はそれぞれ集計しております

主な研修

- ・法人研修 管理者・サビ管対象ハラスメント防止、全職員（救急救命）
中堅職員グループワーク
- ・職場研修 虐待防止、身体拘束適正化
- ・外部研修 感染症防止、食品衛生講習会、

III 2024年度事業を振り返って

1. 利用者への支援

- ・健康増進の観点から散歩、買い物など外出の機会を設け、身体を動かす取り組み支援を進めました。
- ・嘱託医へコロナ、インフルエンザの感染動向、感染予防やてんかん発作のある方への対応、肥満、高血圧の対策などについて相談しました。
- ・個別支援計画の策定に関して利用者の状況、現在・将来の希望などを保護者との面談により共有しました。週1回サビ管の主導による支援会議を開催し、個々の状況について共有し、課題の認識と対応を進めていきました。
- ・GH第2銀河への入所の支援を行い、また利用者の個性・特性に合った事業所への異動を後押ししました。
- ・平均工賃月額の前年度を上回ることができました。

2. 地域交流

- ・地域の行事は復活し、祭りなどへの出店のお誘いが増え、コロナ以前の水準まで戻っています。開所対応し利用者参加については可否を次年度検討していきます。
- ・作業所連絡会へZOOM・対面で参加したり、区民祭りへ参加をするなど地域作業所交流は継続しています。

3. 危機管理・環境整備

- ・消防訓練を7月、2月に実施いたしました。災害BCP検討プロジェクトへ職員が参加しました。災害備蓄品の整備を進めました。
- ・感染症予防研修を担当職員が受講し、危機意識の強化を進めました。
- ・所内の整理整頓をさらに進めました。

4. 人材配置・研修計画

- ・ベテラン非常勤職員が退職し、当事業所経験者である常勤職員を異動で迎えました。
- ・法人内研修、区作連研修、他研修へ職員が参加しました。

5. 経費の効率化・運営収入の確保

- ・きょうされんカウネットで割引率の高い物品を調達するなど、経費節減に努めました。利用に結び付く可能性のある、今後支援学校を卒業する生徒の見学・実習を積極的に受け入れましたが、本人の特性等により、新規利用へは結びつきませんでした。

2024年度 共同生活援助事業報告

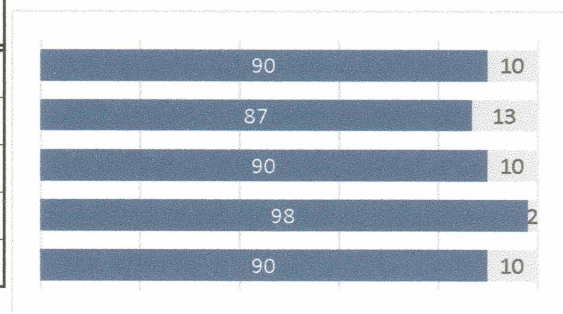
I 事業概況報告

- 1、高齢化や障害の重度化が進む中、安心・安定した生活を送れるよう、関係機関や医療機関と連携し、それぞれのニーズに合わせ、ライフステージの変更も含めた支援内容を協議しておこないました。
- 2、感染症については、随時社会情勢にあわせ、支援をおこないました。
- 3、GH第2銀河の移転について、数回にわたり検討協議をおこないました。
- 4、ご家族との交流の場(イベント等)を開催し、入居者のホームでの生活の様子を知って頂く事や、ご家族からの要望などもお聞きし、支援等に反映できるよう務めました。
- 5、今年度も防災訓練をGH全体で実施し、災害時のシュミレーションなども含め、入居者、職員間での情報提供や共有もおこないました。

II 事業関係 事業期間 2024年4月1日～2025年3月31日

1 利用実績

	性別	定員	稼働率
れいんぼう	男	8 名	90 %
はっぴー	女	8 名	87 %
今人	男	6 名	90 %
銀河	男	6 名	98 %
第二銀河	男	6 名	90 %



2 行事報告 (参加者数には支援者及びボランティアは含まない)

	行事内容	れ	は	今	銀	2	計
4月							名
5月	GH合同食事会	8	4	6	4	4	26 名
6月							名
7月							名
8月							名
9月							名
10月							名
11月							名
12月	クリスマス&忘年会	7	8	5	4	4	28 名
1月							名
2月							名
3月	GH防災訓練&利用者部会	8	7	6	6	5	32 名

3 各ホーム外出行事

活動名	れ	は	今	銀	2	計
ホーム内食事会	8	8	6	6	6	34 名
ホーム内カラオケ大会		8		6	6	20 名
買い物外出	6	4	5	5	5	25 名
ドライブ（公用車にて）			5		6	11 名
ホーム旅行						名
ホームBBQ						名
花火大会観賞		7		6	6	19 名
						名

※ホーム内でアルコールを提供する食事会も含む

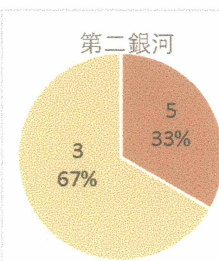
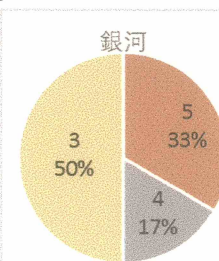
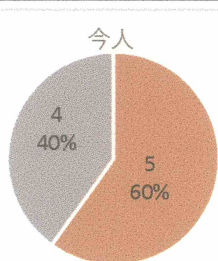
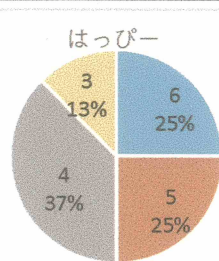
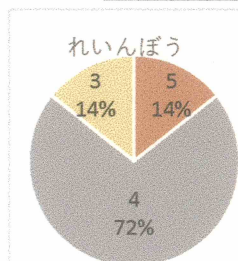
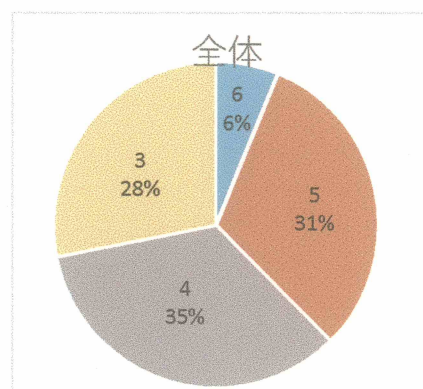
4 利用者関係 ※2025年3月31日付人員

入所 2 名 定員 34 名

退所 2 名 現員 32 名

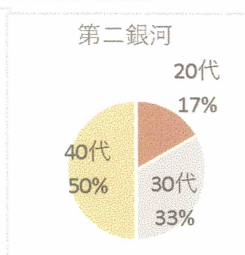
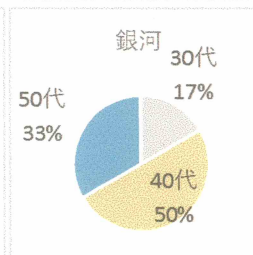
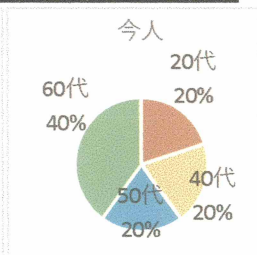
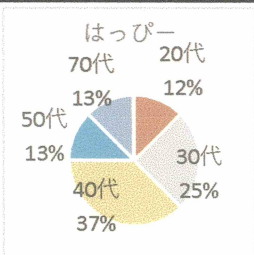
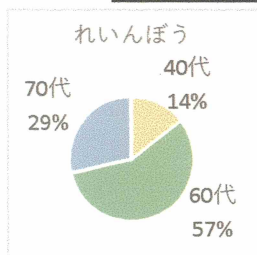
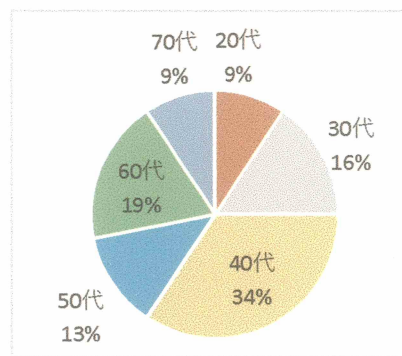
支援区分

	6	5	4	3	2	1	無
れいんぼう		1	5	1			
はっぴー	2	2	3	1			
今人		3	2				
銀河		2	1	3			
第二銀河		2		4			
合計	2	10	11	9			



年齢割合

	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代
れいんぼう				1		4	2
はっぴー		1	2	3	1		1
今人		1		1	1	2	
銀河			1	3	2		
第二銀河		1	2	3			
合計		3	5	11	4	6	3



5 日中活動場所 ※重複通所あり

一般就労 7 名

(株)そごう・西武、損保ケア、特別養護老人ホーム

三洋装備(株)／京急サービス(株)／(株)金原／サンデリカ町田営業所

通所施設 25 名

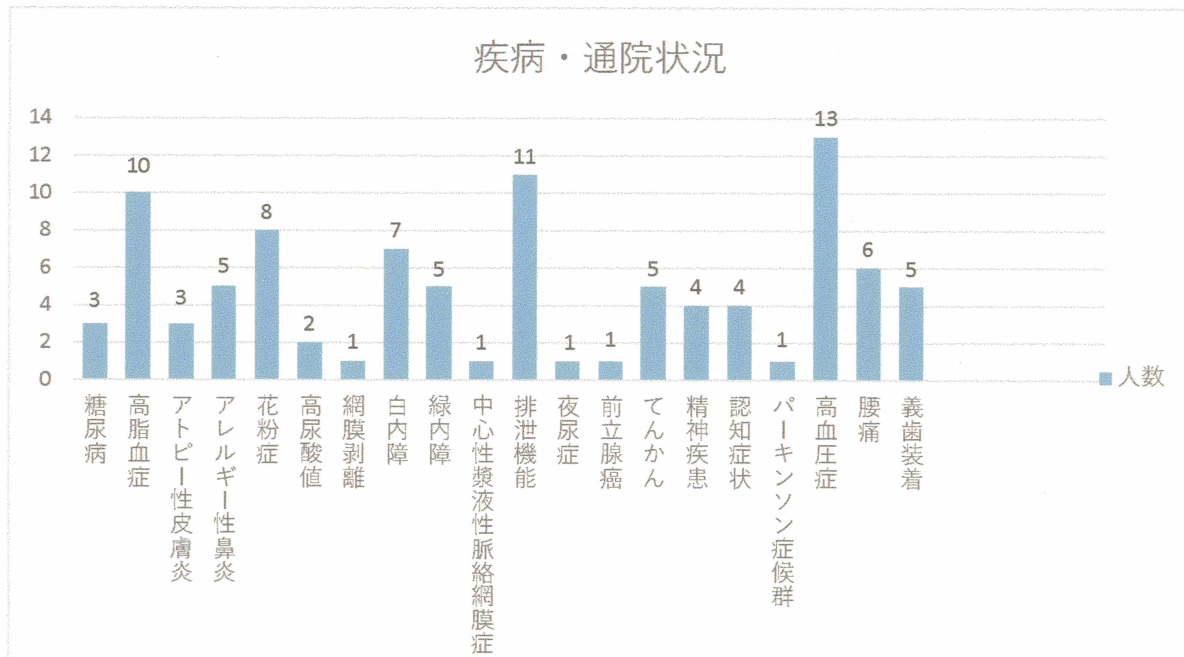
(株)ミライエ製作所、夢工房4番館、ハートランド、ネバーランド、

トロワランド、はばたき、マーキュリー、スマイル、おもろ、エヌ・クラブ

高齢者施設 4 名

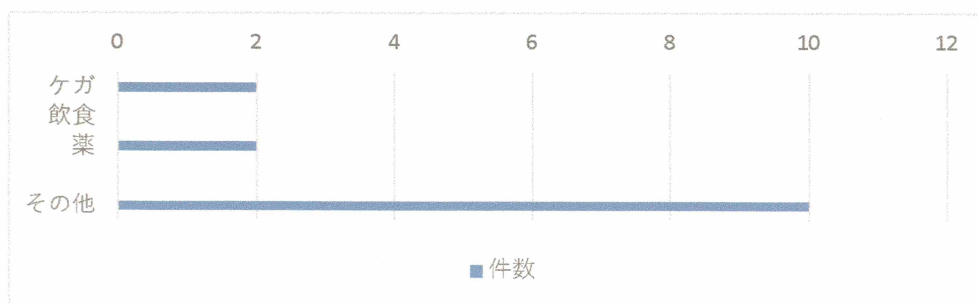
鍼灸マッサージ 憩 三ッ沢、いこい家

6 疾病・通院状況



ヒヤリハット報告

内容	件数	主な内容	対応・改善点
ケガ	2	転倒	病院受診・転倒防止策の共有を行った
飲食			
薬	2	飲み残しがあった	飲み終わるまで見守り支援
その他	10	転倒（怪我なし）	転倒しやすい方の行動把握と見守り



6 職員関係

職員配置	常勤	有期	嘱託	備考
管理者	1 名	名	名	
サービス管理責任者	2 名	名	名	
世話人	7 名	3 名	名	
生活支援員	名	5 名	5 名	

採用 有期 職員 女性 1 名
 有期 職員 男性 1 名
 退職 有期 職員 女性 2 名
 有期 職員 男性 名

研修実績 延 59 名 ※一つの研修で複数の日程の際はそれぞれ集計しております

主な研修 ・ 新人職員研修
 ・ 中堅職員研修
 ・ 救命救急研修
 ・ 身体拘束適正化、虐待防止研修

III 2024年度事業計画を振り返って

- 1、感染症対策等については、社会情勢にあわせながら常に職員間で協議し、意見を交わしながら利用者の生活の安定に配慮した支援をおこないました。
- 2、平常時より医療機関との連携が出来ていたことで、高齢化に伴う病気の早期発見・早期治療に結び付ける事ができました。
- 4、介護保険の要介護認定を受け、関係機関を増やす事でサービスの向上や幅を広げられるように努めました。ライフステージの移行なども含めた協議をおこない、移動される利用者が増えつつある中、空床などの課題に対応しながら、安定した運営に繋がられるよう現在も務めております。
- 5、第2銀河移転については、検討・協議をおこない、情報提供のあった現場も視察しながら、入居者が安心して生活できる環境を探し、移転できるよう務めております。
- 6、ご家族との交流の場が、コロナの影響で少なくなりましたが、家族会との打ち合わせを持ち、食事会を開催。入居者の皆さんの生活の様子を知って頂ける機会となり、また、ご家族からの要望などもお聞きして、支援の向上に務めました。
- 7、防災訓練をGH全体で実施しました。昨年度は『実際に寝袋に寝てみる』ことをしましたが、今年度は、『実際に防災食を屋外で食べてみる』ことにチャレンジしました。

2024年ぐりーんろーど相談室事業報告（特定計画相談事業）

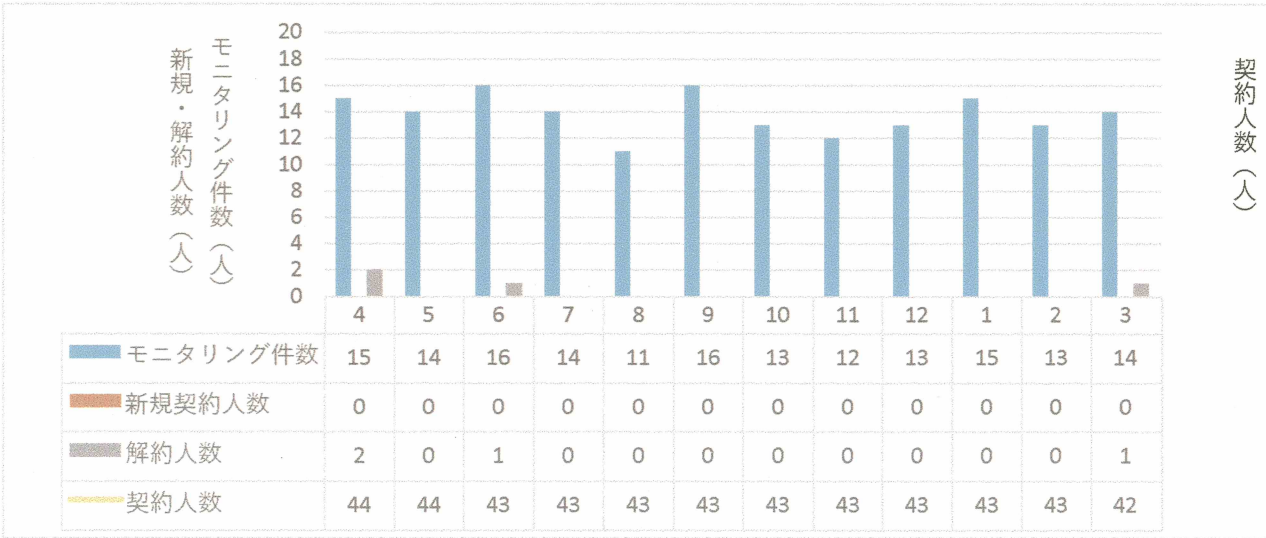
I 事業概況

一般就労や入所施設の移動および介護保険に移行された方などにより4名が契約解除され、利用者46名から42名になりましたが、非常勤相談員1名での業務の為、毎月の仕事量はほとんど変わらず、月15人前後のモニタリング（計画案作成含む）や施設訪問、見学同行、各会議参加などの業務を遂行いたしました。また、7月にネバーランドの生活介護移行もあり、受給者証変更の作業などで2024年度も業務以外の研修などの参加はあまり出来ない状況でした。

業務に関しては継続してサービス利用に関する意向、障害特性や疾病、加齢に伴う本人の心身状況に併せて障害福祉サービス事業者、医療機関、介護保険事業者等との連携をはかり、一人ひとりの特性を考慮したサービス提供へと繋げる様に意識しました。

II 事業関係 実施期間 2024年4月1日から2025年3月31日まで

1 利用実績 開所日数 240 日

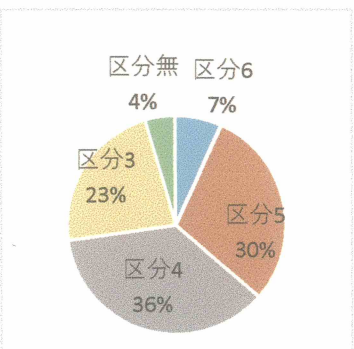


2 利用者関係 ※2025年 3 月31日付

契約者人数 44 名 平均年齢 42 歳

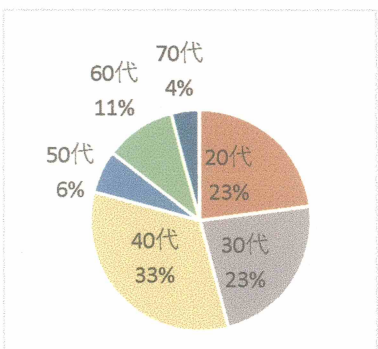
支援区分

	男性	女性	合計
区分6	2	1	3
区分5	10	3	13
区分4	15	1	16
区分3	8	2	10
区分2	0	0	0
区分無	1	1	2



年齢

10代	0
20代	11
30代	11
40代	16
50代	3
60代	5
70代	2



神奈川区	21	金沢区	3	栄区	2
保土ヶ谷区	2	南区	2	旭区	1
鶴見区	2	西区	2	泉区	1
港北区	1	緑区	1	都筑区	4
磯子区	0	港南区	1	横須賀市	1

職員配置	常勤	有期	備考
管理者		1	
相談員		1	

研修実績 延 3 名 ※一つの研修で複数の日程の際はそれぞれ集計しております

主な研修 ・ 自立支援協議会（相談部会）事例研修

・ 法人研修（管理者研修、危機管理研修）

- ・引き続きスケジュール管理、事務管理を念入りにし、取り残しが出ぬ様に努めました。
- ・自立支援協議会への参画は、時間が取れず事例検討研修に1回参加しました。
- ・移動費、郵送費削減の為、移動の際は同じ方向の事業所はなるべく同日に行い、その都度郵送する書類も手渡しするなどしました。
- ・利用者の希望による移管手続きのサポートやアフターフォローとして関係機関と連絡を取り、情報共有、引継ぎ等のサポートを行いました。また、それに伴うケア会議、グループホーム見学など施設見学等は昨年度より増えています。